

『これまでの歯科技工とこれからの歯科技工について考える』

～親子で同じ仕事「歯科技工」をすること～

皆さんはこどもに同じ仕事をさせたいですか？

私が息子と一緒に働き始めて今年で10年目になります。ご存知の通り今歯科技工士の置かれている状況は大変厳しいものです。歯科技工士の数も減少しており、新しく歯科技工士になる学生も1,000名を下回ったと聞いています。

息子が歯科技工士になった以上、そのような状況に嘆いてばかりも入られません。

今回は親子で話す機会をいただきましたので、私は46年の歯科技工人生を振り返るとともに、これまでやってきたことを中心に紆余曲折の歴史を、息子将士は今セイブ歯研と一緒にやっていることについての現状と、これから先の展開について親子ならではの経験談を交えながらお話ししさせていただきたいと思います。

福岡県歯科技工士会会員

廣末 富一

廣末 将士